

あかとう堂々

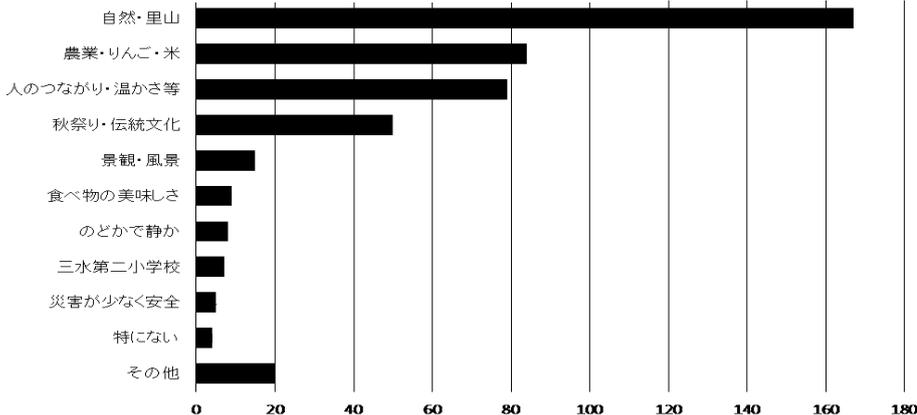
発行／飯綱町役場 企画課 地域振興係

Tel : 026 - 253 - 2511 FAX : 026 - 253 - 5055 E-mail : shinko@town.iizuna.nagano.jp

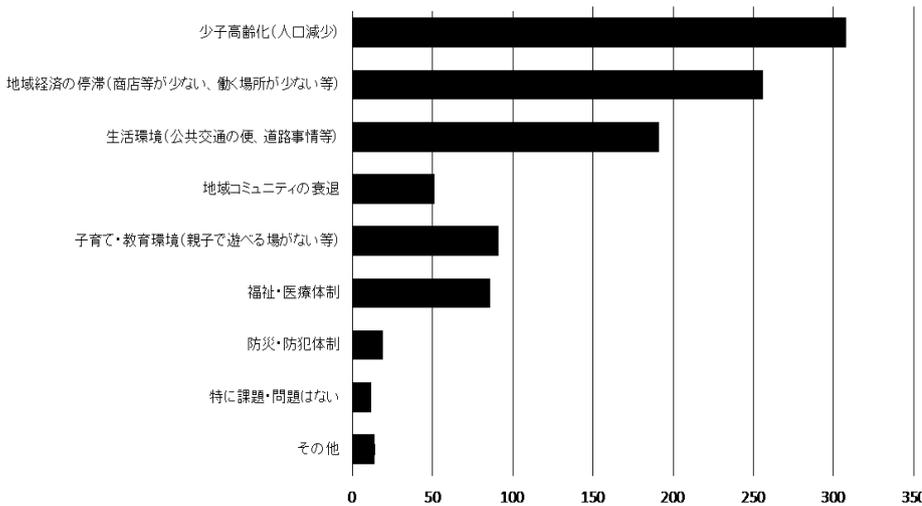
赤東未来創造プロジェクト 集落支援事務局<<赤東コミュニティ消防センター2F>>

携帯 : 080 - 7733 - 5627 E-mail : shurakushien@gmail.com

赤東地区の誇りに思うこと・大切にしたいこと



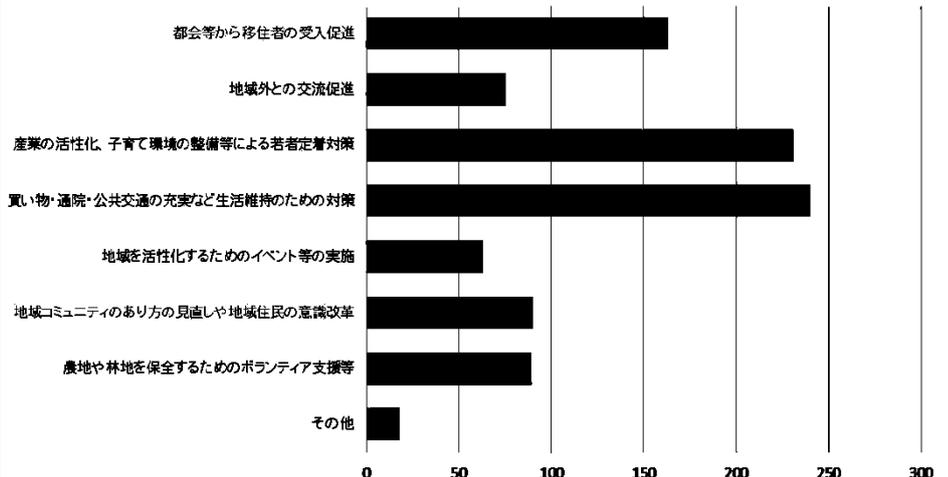
地域が抱える課題や今後の不安



十月に実施された『赤東地区住民アンケート』は、回答者数三九一名で三九、七％の回答率でした。ご協力ありがとうございました。様々な視点からの課題を確認することが出来、赤東区の今を知る大切な資料となりました。赤東地区の魅力は、やはり自然環境の良さであり農村文化のつながりだと思います。その反面、地域経済が停滞し若者が定住しないことで諸問題が生まれます。これは全国的に共通した課題ではありますが…。

赤東区の今、それぞれの思い
— 赤東地区住民アンケート結果から —

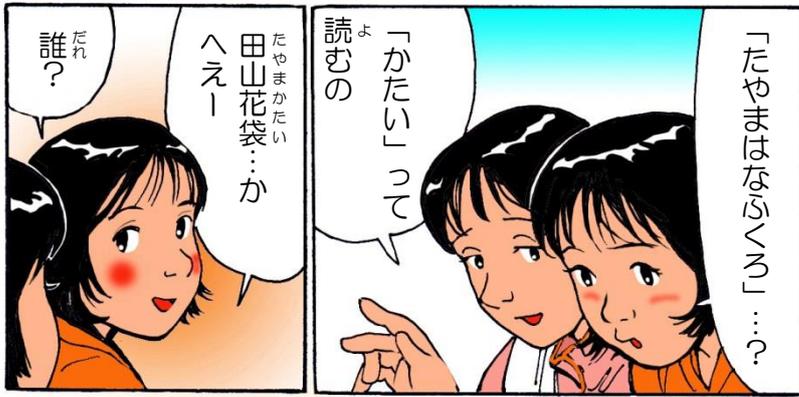
今後赤東地区に必要と思う対策



今回の調査結果において、たくさんの赤東区に寄せる思いをいただきました。それらを真摯に受け止め、今後の赤東区の未来に向けた活動に活かさせていただきます。尚、このアンケート調査をまとめた報告書は、後日全戸に配布する予定です。ぜひ目を通していただき、様々な課題を共有していただければと思います。そして、それぞれの思いで、それぞれのスタイルで、赤東区の未来を一緒に創造していきますように。

あかとうこんじゃくものがたり
赤東今昔物語 ⑤

参考資料：「赤塩学校百年誌」



「文学碑」 / 赤東コミュニティ消防センター敷地内



田山花袋（一八七二〜一九三〇）
明治・大正期の自然主義文学を代表する作家の一人。
尾崎紅葉のもとで修業し、後に国木田独歩、柳田國男りと親交がある。
『蒲団』『田舎教師』などの自然主義派の作品の他、紀行文も数多い。



私は気になって調べてみました。すると、ここ赤塩地区を舞台とした作品がいくつもある事に驚きました。



あとがき
本誌では、よりたくさんの方の皆さんに登場していただきたく考えています。赤東区への思いを紙面を通して伝えていきたいと思っておりますので、ご協力お願いいたします。



「あかとうの日」バンザイ!
毎月十日に、飲みニケーションの中で赤東区の未来を語ろう! とはじめた「あかとうの日」初日十七名の参加者がそれぞれ一品を持ち寄り、盛況に語り合いました。少々飲み過ぎて、記憶がとんだ方もみられ、単に飲み会の場にならないよう、今後チェックです。
いずれにしても、始まったばかり。内容を充実させるのは、参加者の一人ひとり。次回は十二月十日、十九時から。お友達お誘いの上ご参加ください。お待ちしております。